

快 拳！

睡眠学の最高峰ジャーナルに 論文掲載が決定

2022年3月

去る2月11日に大学院全身関連臨床検査学講座の河野 茜 博士が執筆した論文「Swallowing and aspiration during sleep in patients with obstructive sleep apnea versus control individuals」（睡眠時無呼吸症患者の睡眠中の嚥下と誤嚥の解析）が睡眠学の国際的な最高峰ジャーナルである「SLEEP」の厳格な査読を経て同誌に掲載されることが決まりました。この研究については本紙2021年5月号と10月号で予告し、第46回日本睡眠学会で口演報告し、その後に論文を執筆しておよそ4か月で今回の快拳に至りました。ジャーナルの著作権に配慮して論文と異なる左上の図で説明しますと、ここに示された体動のような現象が睡眠中に生じた誤嚥で、もし肺炎球菌や歯周病菌で汚染された唾液、胃食道逆流による胃液、嘔吐した吐物などを肺に誤嚥すると致命的な誤嚥性肺炎を発症してしまいます。健常者でも多少の誤嚥はありますが、睡眠時無呼吸症が重症になるほど誤嚥の頻度が高くなることを見つけ、睡眠時の無呼吸が誤嚥性肺炎の原因になりうることをこの論文で証明しました。

